

《夏号》

2020. 7. 15

あゆみ

Vol. 72

＜発行＞

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
〒540-0006
大阪市中央区法円坂一丁目1番35号
アネックスパル法円坂内
TEL 06 (6940) 4181 FAX 06 (6943) 4661
E-mail: info@daishikyo.or.jp
ホームページ: http://www.daishikyo.or.jp

利用者・家族・職員チームに感謝とエールを

新型コロナウイルス感染症の中での事業所運営

新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、まず述べなければならぬのは、この間外出自粛など大変ストレスのかかる窮屈な生活を過ごされた利用者・ご家族とそれを支えた職員チームへの感謝です。特に看護師さんについては、現場で唯一の医療職として大変不安な日々を過ごされていると思います。

今までの当たり前の日常や社会活動が、いかに多くの人々によって支えられていたかを改めて認識することになりました。また、福祉の職員チームと同様に、医療現場の最前線で奮闘されている医療関係者の皆さんにもエールを送りたいです。

生活を維持するために欠くことのできないサービスであるという自覚

新型コロナ対応で大切だと思うことは、事業者としての基本的な姿勢です。私たちが日々提供しているサービスは、利用者さんや家族の生活維持、豊かな生活を保障するために欠くことのできないものであるということの自覚です。

新型コロナウイルス感染症への不安が社会全体に広がり、マスクや消毒液が不足し、自らが感染するかも知れないという困難な状況の中でも、職員が協力し、知恵を出し合い、安心して、安定的に利用してもらえ事業所運営に努力していくことが、事業者として求められます。

うつらない、うつさないための対策

新型コロナウイルス感染症は、未知の感染症であり、どこの事業所も試行錯誤でした。ただ、感染症への対応の基本は、変わりません。「うつらない、うつさない」です。実際の支援の中で、そのリスクを可能な限り減らしていくしかありません。

しかし、実際の介護や送迎の場面では、体に触れないで介護をすることは、できませんので、常に「うつすかも、うつるかも」という不安の中にあつたことは、言うまでもありません。これは、全国の介護職員に共通したジレンマだったと考えます。

「いつ感染者が出てもおかしくない」という不安

現場では、発熱者の対応に苦慮していました。発熱者が出ると発熱外来を受診します。防護服を着た病院職員さんが出てきて対応します。保健所も入って、PCR検査を実施するか協議します。施設では、陽性だった場合に備えて、濃厚接触にあたる利用者・職員の割り出し、隔離体制、勤務体制の検討等が行われています。陽性者が出た場合、事業所の閉鎖、消毒など、とても十分な対応は、不可能と思われました。



幸い利用者・職員・家族で感染者は、出ませんでした。しかし、「いつ感染者が出てもおかしくない」という不安の中での毎日でした。

新型コロナウイルス感染症の経過

1/29	大阪府内最初の感染者
2/27	ライブハウスでクラスター発生
3/2	学校 休校要請
3/20	吉村知事 連休中の往来自粛呼びかけ
~3/22	3月下旬から徐々に感染者が増える。
4/7	7都府県に緊急事態宣言、大阪府緊急事態措置
4/9	1日に92名の新規陽性者(ピーク)
4/14	大阪 緊急事態措置の追加 「家庭での対応が可能な場合には、可能な限り利用の自粛」要請。
4/16	全国に緊急事態宣言 その後も大阪では50名程度の新規陽性者が確認。50名を切ったのは4/7の緊急事態宣言から2週間後の4/22。
5/5	「大阪モデル」発表
5/14	全国の39県 緊急事態宣言解除
5/16	「大阪モデル」クリアし外出自粛や休業要請の段階的解除
5/21	大阪、京都、兵庫 緊急事態宣言解除
6/1	府内全域での要請解除、公立学校段階的再開
7月現在	まだまだ予断を許さない状況が続いている

経営的な問題

新型コロナの経営への影響は、新年度に入る前から懸念されていた。

法人でまとめたデータでは、4月、5月の国保連収入は、前年比で7%減、合計870万円減で、大変大きなマイナスを抱えてのスタートとなりました。

国も二次補正予算において、福祉サービスへ事業・職員への支援を打ち出しました。

新型コロナへの対応は「団体戦」

新型コロナ感染症への対応は、「団体戦」です。これは、事業所においても、法人においても、国レベルにおいても言えることなのではないかと思えます。一人の気のゆるみが全体を危険にしかねません。しかし、一人のアイデアが全体を救うこともあります。

しっかり、利用者さんの生活する権利を守れるように、知恵を出し合い、作戦を練り、情報を交換し、各自が持ち場で努力することが、「団体戦」で成果を出すコツです。

利用者さん、職員の笑い声も、徐々に職場にもどってきました。何よりです。

新型コロナ感染症への対応は、まだまだ、予断を許さず、安心できません。

なんとかこの難局をオール大肢協の「団体戦」で乗り切って、笑顔のあふれる職場を取り戻したいものです。

法人事務局次長 野間田 徹

大肢協 コロナ禍を乗り越える

なにわの宮 大肢協コミュニティホームズ・中央

今年に入り新型コロナウイルス感染症が蔓延しはじめ、なにわの宮では2月より感染症に対する対策を講じました。

従来のインフルエンザ等の感染症マニュアルは存在していましたが、今回のような未知のウイルスによる感染の拡大についての想定はされておらず、国や大阪府、大阪市の感染症に関する通知に基づきその都度対応を施してきました。

手洗い、うがい、手指の消毒の励行、マスクの着用等基本的な感染対策を常に心がけました。生活介護においては、A3サイズのラミネートを2つ合わせ、ブックエンドで固定し飛沫防止対策を行いました。また、常に窓を開放し換気をしています。

就労継続支援B型(café shade tree)では、緊急事態宣言中において時短営業を行いました。飲食という業種であるため衛生面においては日常的に注意を払っており、より一層の感染症対策で営業を続けることができました。しかし、お客様はいつもより少なかったのですが、リピーターさんが足を運んで下さるなど少しずつ地域の方々にも認知されていることを実感することができました。

コミュニティホームズ・中央では4月より緊急事態宣言中においてグループホーム利用者の不要不急の外出を禁止し、ステイホームの状態が続きました。

利用者も日常と違う「外出できない」というストレスもある中、ウイルス感染の怖さもしっかりと理解し、行動できたことがこの事態を乗り越える力になったと思います。

まだまだ世界的にも感染者が増えておりロックダウンする都市などが出ているようです。

また、西日本豪雨から2年が経過する中で、7月も九州豪雨による甚大な被害が報じられています。

コロナ禍の中で災害に対する対策も併せて考えていかなければなりません。

利用者、職員一人一人が感染症に対する意識をしっかりと持ち続けることが大切であると考えます。

今後も感染症対策をしっかりと講じながら事業所運営を行いたいと思います。

大肢協 コロナ等感染症予防対応について

守口障害者支援センターひだまり

今般のコロナ禍の中、守口障害者支援センターひだまりで、実施している感染症予防対応についてご紹介します。



①喀痰吸引が必要な利用者様が4名いらっしゃる事から、喀痰吸引時には、マスク・手袋・フェイスシールド・使い捨てエプロン代わりの割烹着(使用後は洗って再利用)を各利用者様毎に準備して対応しています。

②日中活動スペース、相談室には職員お手製の飛沫拡散予防シートを設置。

③食事提供時には、職員各自のフェイスシールドを装着し、介助を行っています。

④送迎車については、朝夕の送迎後に次亜塩素酸電解水にて、消毒を行っています。

今後も利用者様やそのご家族、職員も含めて、安心して事業実施できる様、対策を講じてまいります。

みなさまどうぞご協力よろしくお願いいたします。



令和2年度事業計画

大肢協		大肢連	
7月		未定	府への要望書提出
8月		4日(火)	親・家族交流会：アートホテル大阪ベイタワー
9月	26日(土)	未定	国へ要望書提出
		13日(日)~14日(月)	親子一泊旅行：中止
10月	3日(土)	3日(土)	日帰りレクリエーション：おやつカンパニー(三重県) (大阪府受託事業)
	10日(土)		日帰りレクリエーション：びわ湖シガングルーズ(滋賀県) (大阪府受託事業)
11月	28日(土)	28日(土)	第56回チャリティバザー：中止 日帰りレクリエーション：みかん狩り：岸和田市 新樹園 (大阪府受託事業)
12月	5日(土)	3日(木)	障害者週間 啓発活動：京橋駅前
	13日(日)	~9日(水)	
1月		19日(火)	新成人のつどい：各ブロック・各父母の会 防災研修会：未定
2月			
3月	未定	未定	施設見学：滋賀県 ぼのハウス
	下旬		

○役員会(毎月第2火曜)・市区町村代表者会議(毎月第3火曜)は定例とする。
○研修会1回、施設見学1回開催予定

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から内容や日程等に変更の可能性がございますことをご了承ください。

大肢連 「ステイホーム」どのように過ごしていましたか

新型コロナウイルスの感染拡大が少し落ち着いてきて、近畿の感染者数が少数の日が続いています。しかし、これで安心してるとまたいつ第2波が来るか、まだまだ油断はできません。

4月7日より緊急事態宣言が発令され、「ステイホーム」を合言葉に障害のある子どもたちとずっとお家で過ごされていたご家族も多いのではないのでしょうか。

ストレスフリーで過ごせたというご家族に、どんなふうに乗切ったのかお聞きました。

皆さんのご家庭でのこの度の経験と、いろいろな正しい情報も蓄えて、第2波に備えられたらいいですね。

和泉市 藤井かをり 息子:将史

新型コロナウイルス感染症が広がっている中、通所は不要不急なのかと考えながら緊急事態宣言に備えていました。

日用品を少しずつ買い揃え、息子の病院の受診を前倒しにし、散髪も済ませ、緊急事態宣言が出された頃には息子もコロナが怖いと理解できていたので生活介護、居宅サービス、訪問看護すべて利用を止めて自粛生活を始めてみました。いざ始めてみると息子は文句も言わずだらだらした生活にすぐに慣れ、ほとんどテレビを見て過ごし、おかげで「安倍さん」「吉村さん」「小池さん」をしっかりと覚えました。入浴も生活介護と居宅

の身体介護を利用していたのでどうなるか不安でしたが、主人が毎日入浴させてくれたので助かりました。

通所再開の時に、布マスクではよだれですぐに濡れてしまうのでフェイスシールドの方がいいと思い、呼吸器の回路も通せるように手作りました。着け心地はいいようで、今は毎日フェイスシールドを付けて通所しています。



八尾市 村田真理子 娘:悠(はるか)

娘とのステイホームは、2ヶ月以上。

福祉サービスが乏しかった夏休み以来です。

その時から比べると、心身共に成長していて体力的に大変でしたが親子でストレスフリーに過ごせました。

母の趣味であるフルートの音色やバルーンアートの音が大好きな娘は、下手な演奏でも風船の擦れる音でも笑顔いっぱい!

時々、ケーキを焼いたり、お庭で外気浴したり、手浴したり、普段よりゆっくりのんびりした有意義なステイホームになりました。

でも、もう新型コロナは嫌です。

早く終息しますように!



大肢連 「新型コロナウイルス感染対策における障害児者への適切な配慮に関する要望」について

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会では5月早々にこの度の新型コロナウイルス感染対策について、国(厚労省・文科省)と各都道府県へ要望書を提出しました。

大肢連としましても、大阪府へ追加の要望項目を検討しているところです。

- いかなる状況においても第三者による命の選別を行わないこと
- 重症化に対応できるよう人工呼吸器の増産と確保、集中治療室の増設
- 医療的ケアを必要とする児者や難病患者への感染予防対策上、必要とする消毒用アルコール、マスク等の確保と確実な配給
- 長引く休校、障害者通所施設の休業、短期入所の閉鎖等に伴う在宅生活での介護支援体制の確保
- 感染者の医療、看護、介護にあたる人々とその家族の安心安全のための保障、感染した時の保障
- 長引く休校に伴う在宅学習での閉塞、孤立感を軽減するために定期的なICTを用いた家庭面談、特別支援教育に特化した在宅学習環境の整備

(「新型コロナウイルス感染対策における障害児者への適切な配慮に関する要望」12項目より抜粋)



会長 知念 輝子

新型コロナのおかげで外出を控えることが求められる毎日です。当会では今年度の総会は中止とし、資料を各会員に送付させていただきました。

作業所は週1回開所し、通所を通じて体を動かし、またリハビリも行うことができました。会員の皆様の体調は良好で、その元気な顔を見ることができたのは何よりです。

今年は造幣局の通り抜け、桜まつり、全国大会、近畿福祉大会、地域での交流事業、港ふれあい福祉のひろば等々、行事はすべて取りやめになり残念のひとつです。

遠出を楽しみにしている会員ともども、早くコロナが終息することを祈っています。

作業所では、玄関で検温や手指の消毒など、コロナ対策を丁寧に行っていますが、今後も気を許すことなく工夫して乗り切っていくつもりです。



ありがとうございます!!

大肢協

大阪梅田ライオンズクラブ様よりご寄付いただきました。
また、各団体様より、マスク、フェイスシールド等、寄贈いただきました。

大阪梅田ライオンズクラブでは、「地球兄弟プロジェクト チャリティコンサート」として、歌手の河口恭吾さん、地球兄弟プロジェクトの参加アーティストの皆さんによるライブコンサートを開催(2019年度は2020年1月25日実施)され、そのコンサートの収益金を大肢協にご寄付いただきました。



同ライオンズクラブは、これまで肢体不自由児者の自助具の制作援助、肢体不自由児者の作品展を30年継続支援など、1974年以来長年に渡って、障害者の自立と社会参加の推進にご支援いただいています。

いただいた寄付金は、障害者の社会参加促進や障害者施設の備品購入等のため、大切にに使わせていただきます。

これらは当協会が実施する障害福祉サービス等事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

- ・大阪梅田ライオンズクラブ様：マスク 50枚
- ・公益社団法人 24時間テレビチャリティー委員会様：
布マスク 100枚
- ・天満家紙業株式会社様：フェイスシールド 100ヶ
- ・NPO法人 まんぼう様：毛糸他

大肢連

下記の通り、寄贈いただきました。

- ・大阪府福祉部障がい福祉室様
ハンドスキッシュ 800mL 336本
- ・大阪靴メーカー協同組合様
婦人靴 400足・エコバッグ 100個

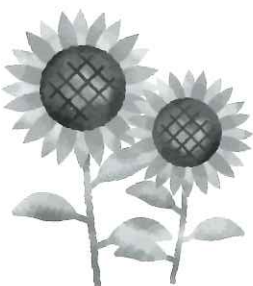
第39回(令和2年度)

肢体不自由児・者の「美術展」「デジタル写真展」

応募資格 肢体不自由児・者
 応募締切 9月23日(水)(当日必着)
 応募先 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会 美術展 係
 〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-7
 TEL: 03-5995-4511 FAX: 03-5995-4515

作品
募集

詳細は直接お問い合わせください。



【大肢協ご協力深謝】
 (順不同、敬称略)
 二〇二〇年四月一日
 六月三十日現在
 寄付金
 二〇〇,〇〇〇円
 大阪梅田ライオンズクラブ

大肢連

全肢連さわやかレクリエーション

『親・家族交流会』

全肢連さわやかレクリエーションの助成を受け、今年度も開催いたします。

コロナ対策をしっかりとっているホテルの51階会場を貸切りにし、食事をしながら会員の交流を図りたいと思います。「福祉と医療との連携」についてのプチ研修もありますので多数ご参加お待ちしております。

- と き** 8月4日(火) 11:30~13:00
 ★集合…オーク200アトリウム 11:10
- 会 場** アートホテル大阪ベイタワー51階 スカイビュッフェ
- 参加費** お一人 2,000円
- 定 員** 70名
 (すでに申込み開始していますので定員に達していたらお断りすることがございます。ご了承ください。)

大肢連

「第56回 肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」中止のお知らせ

毎年11月に開催しております「肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止とさせていただきます。

いつもご協力いただいております団体、企業様には改めてご案内させていただきます。また、毎年楽しみにしていただいているお客様方におかれましては、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

来年度、必ず元気にバザーを開催できるよう会員一同、コロナ対策をしっかりと取りながら活動を続けてまいりますので、引き続きご支援よろしくお願いたします。

大肢協

2020年度共同募金配分金交付決定のお知らせ

令和元年度に実施された「NHK歳末たすけあい」による、当協会への配分金(618,000円)が決定されました。配分金は当協会の社会参加促進事業(クリスマス会)等に有効適正に活用いたします。

販売

会員割引
あります



伝統の味わいを心ゆくまで
お楽しみ下さい。

「細さ」
「吉ざわり」
「こし」

長崎島原名産
蔵田本格手延べ
島原手延素麺



K-50 細糸の舞
 木箱・2000g詰(50g×40束)
 標準小売価格 1個 **5,400円**
 (本体価格 5,000円)
 包装外寸=335×210×47mm



B-40 夏ごころ
 化粧箱・1800g詰(50g×36束)
 標準小売価格 1個 **4,320円**
 (本体価格 4,000円)
 包装外寸=318×220×42mm



◎ご注文は地域の父母の会または大肢連事務局まで
 TEL: 06-6940-4181